

ギタスナ新聞

6月4日
金曜日

制作・編集
ギタスナフェス

https://gs-fes.com
guitarsnaps.festival@gmail.com

ふれあい緑地で新たな一歩

新しい生活様式の中迎えた、 新たな形のギタスナフェス。

昨年、2020年11月、豊中市内のふれあい緑地公園にて、ギタスナフェス2020が開催された。四年目を迎えたギタスナだが、従来の服部野音ではなく、新たなフィールドでの開催となった。



いつまでも多くの人が楽器や音楽と共に人生を歩んでほしい。そんな想いを実現すべく、一年に一度開催されるギタスナフェス。昨年はコロナウィルスの猛威がある中、無事四度目の開催を迎えることができ、来場者もついに千人の大会に達した。

入場無料のギタスナフェスの運営は、実行委員会と有志のボランティアスタッフによって行われている。50名もの協力スタッフ、そして9組の出演ミュージシャンを迎えフェスは盛大に実施された。

とはいえ、アーティストのメインスタージや、「500人ギター」は、コロナウィルスの影響を考慮し、演奏のインターネット配信を採用した。これについては豊中市内のライブハウス「LIP 2nd」を貸し切り、同日別会場からの演奏配信に踏み切った。また500人ギターについては、事前に演奏動画を集約し、編集したムービーの配信を行なった。課題曲の一つである「空も飛べるはず」は、子供か

実行委員長フジタ氏登場 音楽と楽器への愛を語る

五周年となるギタスナフェスの始まりは、実行委員長フジタ氏による、とある活動に基づいている。

かねてより、フジタ氏は、Guitar Snaps (ギタスナップス) と称し、街中で見かけた、ギターやベースを背負った方の写真を撮影する活動を行っている。撮影写真はウェブ上に掲載し、「街角ギター写真サイト」



実行委員長
フジタタカアキ氏

ら大人まで、そしてアマチュアからプロまで、計60名以上の参加者によって奏でられ、実行委員長自らも編集したスペシャルムービーとしてお披露目された。

当日はかつてないほどの物販・飲食ブースの店が集まり、来場者を大いに盛り上げた。残念ながらギター・ウクレレ体験コーナーの実施を控えたものの、新たな取り組みとして、防災を意識したブースが登場。

その他、例年から引き続きとなる「ライブギタープロジェクト」も無事オリジナルギターの受け渡しを完了することができた。

最後になるが、今年度のギタスナフェスは2021年11月13日土曜日に開催決定した。詳細は追ってお知らせしたい。乞うご期待を！

として運営をしている。

『街ゆくギターケースの中身が気になってしょうがない』。まさに楽器愛溢れるフジタ氏を形容している。以下、実行委員長フジタ氏からのメッセージをお届けしたい。

『周りで楽器を手放す人が出てきたのを悲い、楽器を持つ方々の姿を保存すべく活動しております。百万枚の街角ギター写真サイトとなり、皆さんのいい笑顔を見て「私も楽器を始めてみよう」と音楽人口が拡大することを願っております。五十年、百年後もアナログ楽器が残

楽器を始めたい方へ朗報！

『楽器に興味はあるけれど、買っても続かぬ心配。そんな方も安心を！ ギタスナフェスが無料でギター・ベース・ウクレレをレンタルするサービス「Hikite」が始まりました。寄付頂いた楽器を貸し出した、新たな弾き手を作り出すプログラムとしてスタートしたHikite。



つていく世の中にしたいです。さてギタスナフェスは、夢をあきらめない大人たちによる全力で遊び楽しむ一日を目指します。プロアマ問わず音楽を聴き、演奏し、分かち合う日。そんな日が一年に一回でもあれば、きつと音楽を続けていける。「いつまでも多くの人がギターなどの楽器、そして音楽と共に人生を歩んでほしい。」そんな想いの詰まったフェスを開催いたします。みなさんも一緒に音楽を奏でませんか？ 2021年も、ふれあい緑地で開催予定です。お待ちしております！ ※ギター・ベース、現在公式ホームページならびに、電子書籍にて公開中である。「ギター・ベース」で検索を。

〈募集要項〉2021年3月1期生募集スタート ※多数申込の場合は抽選となります。初めて楽器を扱う方が優先となります。アコギ、ウクレレ、エレキギター、エレキベースからお選びください。貸出期間：申し込み後からギタスナフェス開催当日まで。貸出方法：ギタスナフェスFBよりお問い合わせ、もしくは実行委員会までご連絡ください。受け渡し：手渡しもしくは最寄りの練習部にて実施予定。 ※ギタスナフェス開催迄にご返却いただく場合は、最寄りの練習部にお持ち込みいただくか、実行委員会までご返却ください。



改めて見えた、 ギタスナらしさ。

